

緑地管理用除草剤

雑草を適切に除草し

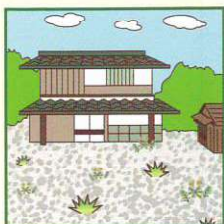
衛生管理・環境美化を図りましょう!

バックアップ[®]粒剤

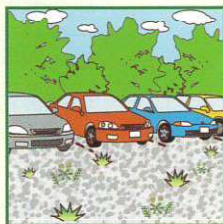
バックアップは株式会社エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です。

宅地まわり、駐車場、畜舎まわり、ソーラーパネル敷地、お墓まわり、工場敷地内などの雑草防除に!!

こんな場所の雑草に



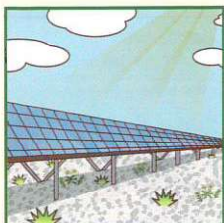
宅地まわり



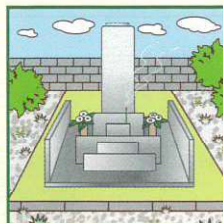
駐車場



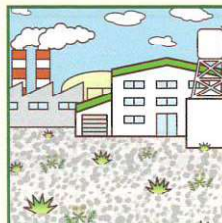
畜舎まわり



ソーラーパネル敷地



お墓まわり



工場敷地

根も葉も枯れる 除草剤!!

便利

チャック
付き!



雑草防除は

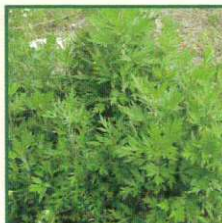
たとえばこんな雑草に



セイタカアワダチソウ



オオアレチノギク



ヨモギ



メヒシバ



ササ



ススキ※

※ 生育ステージによっては効果が得にくい場合があります。

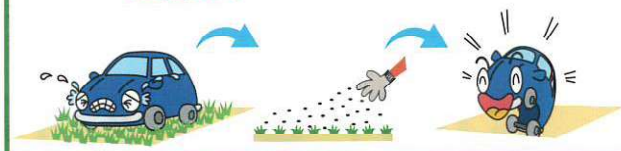
カルブチレート粒剤

有効成分:カルブチレート4.0%

手まきで簡単! 雑草防除

しかも **長期間** 雑草を抑える

スッキリ
除草!!



バックアップ[®] 粒剤

カルブチレート…4.0%

荷姿：1kg×20袋

- ◆使用前にはラベルをよく読む。
- ◆ラベルの記載以外には使用しない。
- ◆本剤は小児の手の届くところには置かない。

特長1 殺草範囲が広い

一年生雑草はもちろん、
多年生雑草も枯らします。

特長2 持続効果が長い

残効期間が長く年一回の
散布で安定した効果が
得られます。

特長3 使い方が簡単

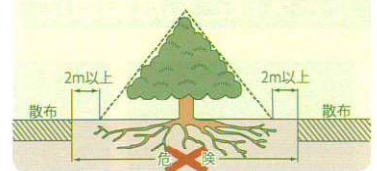
手まきで処理できます。
雑草の生育初期に
使用できます。

適用雑草と使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	カルブチレートを含む農薬の総使用回数
樹木等	公園 堤とう 駐車場 道路 運動場 宅地 鉄道のり面等	一年生雑草	雑草生育初期	10~20kg /10a	2回以内	植栽地を除く 樹木等の 周辺地に 全面土壌散布	2回以内
		多年生雑草		20~30kg /10a			
ひのき	造林地 (下刈り)	落葉雑かん木、 一年生及び 多年生雑草	新葉展開前~ 展開初期 雑かん木(3~4月)	12kg /10a	1回	全面土壌散布	1回
		ササ	5~7月			空中散布	
すぎ ひのき とどまつ	造林地 (地ごしらえ)		ウラジロ コシダ	4~5月上旬 (北海道は6月)	5~7月	全面土壌散布	
		5~7月		空中散布			

△ 効果・薬害等の注意

- 対象雑草木の土壌表面に均一に散布する。なお散布がおくれると下刈効果は不十分となるので、使用時期を失しないように注意する。
- 散布量は1ヘクタール当り120kgを基準とし、雑草木の繁茂の程度に応じて適宜増減する。
- 落葉低木木に使用する場合は、樹高1.5m以上では効果が劣る場合があるので、樹高1.5m以下の時期に使用する。
又、大きな切株からの太い萌芽及び常緑かん木には効果が不十分であるので、それらの優占する場所での使用はさける。
- 降雪地帯では落葉雑かん木への散布は融雪後速やかに散布する。
- 造林地(地ごしらえ)に使用する場合は、植栽は翌春以降に行う。
- 空中散布で使用する場合はヘリコプター用粒剤散布装置によって散布する。
- 雑草木の群生している場所に局所使用する場合には、散布面積の割合に応じて使用量を減ずる。
- 本剤は遅効性なので効果の発現までに時間を要するが再散布はしない。
- 造林地(下刈)に使用する場合はヒノキの造林地に使用し、その他の造林地(スギ等)には薬害のおそれがあるので使用しない。
- 他の農作物には薬害を生じるおそれがあるので付近に農作物がある場合には、飛散流入等ないように十分注意する。
- 植栽地を除く樹木等の周辺地に使用する場合は、薬剤が樹木等の植栽地に流入または飛散するおそれのある場所等では使用しない。また、樹木等有用植物の根が分布していると思われる所では使用をさける。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、林業技術者の指導を受けることが望ましい。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、特に以下のことに注意する。
①激しい降雨の予想される場合は、使用をさける。②水源池等に本剤が飛散・流入しないよう十分に注意する。



△ 安全使用上の注意

- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器、空袋等は、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、小児や散布に関係のない者が作業現場に近づかないよう配慮するとともに居住者、通行人、家畜などに被害を及ぼさないよう注意を払う。
また散布後であっても、少なくともその当日は散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立札を立てるなど配慮する。
- 空中散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意する。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管する。
〔保管〕：直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。

☆記載内容は2023年2月現在のものです。

2023.2(CN)

■製造

株式会社 **エス・ディー・エス バイオテック**
〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3番地 AKSビル

■販売

丸善薬品産業株式会社
SINCE 1895
東京本部 東京都千代田区鍛冶町2-9-12(神田徳力ビル) ☎03-3256-5561
札幌営業所、仙台営業所、名古屋支店、大阪本部、福岡支店